



市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

レンズをのぞけば アオハル #僕たちの青春

このコーナーは、市内高校生（口加高・島原翔南高）の視点から見た市の風景や出来事などをお届けするコラボ企画です。



この写真は加津佐前浜海水浴場で撮影しました。夕方になると広々とした海に夕日が照らされて、幻想的な風景を見ることが出来ます。

映えスポットとしても人気の場所で夏には人でにぎわい、地域の人から長年愛される場所です。

ぜひ来て、きれいな景色を見てください。

(Koka 観光班)

こちらもチェック!

市Facebook 撮ってくれね南島原

口加高Instagram Koka観光班



3 22歳のつどい～同郷を想う会～

1月2日、新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止した「令和3年南島原市成人式」に代わるものとして「22歳のつどい～同郷を想う会～」を開催し、135人が出席しました。

松本市長は「自分が成長した礎は「ふるさと南島原」であることを忘れず、本日集まった仲間と南島原を想い、懐かしみ、今後の人生の財産になることを祈っています」とエールを送りました。

22歳の誓いでは、中嶋琴さん(西有家町)が「ここ数年のコロナ禍で、今までの当たり前であったことの幸せや大きな変化の中での柔軟に対応できる力が身につくなど、人として成長することができました。心から応援してくれるふるさとがあることは忘れず、精進していきます」と決意を述べました。



最後に頼りまわってれびが制作された「なつかしの映像」が放映されると、当時を懐かしみ、思い出を語っていました。



1 500人の二十歳の門出を祝う

1月4日、二十歳のつどいを開催し、20歳を迎える500人のうち、370人が出席しました。

松本市長は「生まれ育ったふるさと南島原市に誇りと愛着を持ち続け、これからの人生を力強く前進され、新しい時代を切り開いてください」とエールを送り、中島幸咲奈さん(加津佐町)に記念品のタンブラーを贈呈しました。

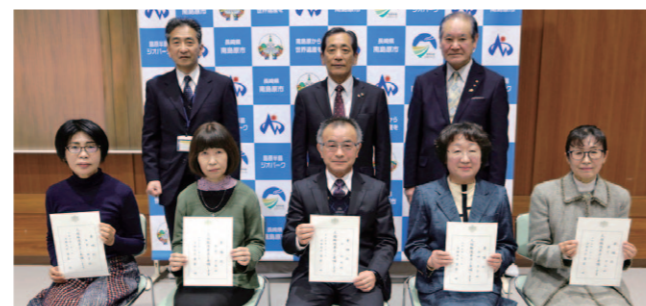
二十歳の誓いでは、大嶋健心さん(西有家町)が「変化する時代を生きる私たちが、変わりゆく時代の中で新しい風を吹かせ、変わらない夢や希望を持ち、仲間と協力し南島原で生まれ育った誇りを胸に、力強く楽しみながら前進し続けます」と決意を述べました。



閉会后、会場周辺では久々の友人との再会を喜び、マスク越しに笑顔浮かべながら談笑したり記念撮影するなどしてお互いの門出を祝福しました。



左から退任された古川さん、山崎さん、林田さん、川上さん、宮崎さん



左から新任の本多さん、古里さん、芥さん、山田さん、瀬川さん

4 退任人権擁護委員に感謝状

1月16日、任期満了により人権擁護委員を退任された古川さわ子さん(深江町)、山崎幸成さん(布津町)、林田梨恵さん(加津佐町)、川上玲子さん(西有家町)、宮崎理恵子さん(布津町)に対し、長きにわたり活動され、人権に関する相談、啓発など尽力された功績が認められ、感謝状が授与されました。

古川さわ子さんは「コロナ禍でさまざまな制限もありましたが楽しく活動できました。人権教室での相談対応や各学校・福祉施設での啓発活動が印象に残っています」と4期12年の活動を振り返りました。

また同日、新任となる5人の人権擁護委員(本多勝子さん(西有家町)、古里早苗さん(加津佐町)、芥利光さん(布津町)、山田恵子さん(布津町)、瀬川百合さん(深江町))に対して、委嘱状が交付されました。



2 堂々たる消防出初式

1月5日、ありえコレジヨホールで消防出初式を開催しました。式典では、長年にわたり消防団活動に尽力した団員や、県ポンプ操法大会に出場した有家地区団の出場団員が表彰を受けました。被表彰者を代表して、元加津佐地区副団長の林田秀一郎さんが「南島原市の防人として、微力ながらも誠心誠意、消防業務に携わってきたことを誇りにし、今後の人生の糧にしたい」と謝辞を述べました。

その後の消防団長挨拶で永田団長は「どのような事態が起きても、迅速に対応できるよう、防災体制の整備を充実させるとともに、これまで以上に消防技術の錬磨に精励し、崇高な消防精神に支えられた強い信頼と団結を築いてほしい」と話しました。

また、式典後の分列行進では幼年、少年、婦人消防クラブも参加し「火遊びは絶対にしません」と誓いました。